

## 奄美地域における遺跡発掘調査情報の共有化 2

### — 『全国遺跡報告総覧』の活用—

橋本達也

# Communalization of Information on Archaeological Excavations in the Amami area II - Practical Use of "Comprehensive Database of Archaeological Site Reports in Japan"

HASHIMOTO Tatsuya

鹿児島大学総合研究博物館  
*The Kagoshima University Museum*

#### 要旨

奄美地域ではこれまでに遺跡の発掘調査によって日本列島史の多様性に光を当てるような全国的にも注目される成果が蓄積されている。その調査成果は自治体ごとに発行される発掘調査報告書の刊行での公表が基本となっているが、その閲覧は必ずしも容易でない。こういった状況を改善し、広く情報を共有する方法として、2015年度から(独法)奈良文化財研究所が運用しているWEB上の報告書公開システム『全国遺跡報告総覧』の利用がある。これを用いた報告書公開を推進することで、どこでもだれでもが遺跡発掘調査情報を入手しやすくなり、研究、教育普及などへの活用が可能となる。

#### はじめに

奄美地域では近年、多くの遺跡の発掘調査成果を中心とする文化財情報の蓄積が進められている。とくに古代～中世の喜界島の城久遺跡群、徳之島のカムイヤキ古窯跡群などは日本史を語る上での重要遺跡として考古学・文献史研究者には全国的に良く知られた遺跡となっている。最近2年間でも、2016年度には奄美市小湊フワガネク遺跡出土品が国指定重要文化財、2016年度には伊仙町面縄貝塚、2017年度には喜界町城久遺跡群が国指定史跡に指定されており、全国的な注目度はますます上がり続けている。

さらに、瀬戸内町の戦争遺跡、沖永良部島の近世墓など新たな調査の取り組みもあり、今

後とも多様な文化財の調査・研究とその活用への期待は高まっている。

一般に遺跡等の文化財調査の情報は、調査主体となる各自治体が刊行する調査報告書によって公表されているが、その刊行部数は少なく、ほとんどが限られた研究機関・図書館等にしか所蔵されていない。そのため、研究者であっても個人での閲覧利用には高いハードルがあり、専門研究者以外ではきわめて難しい。これを WEB 上で公開できれば、どこからでもだれでもが容易にアクセス可能となり、研究および教育や地域学習などさまざまな活用が期待できる。各自治体側にとっても広く成果をアピールすることが可能となる。

## 方法

2008 年度～2014 年度、国立大学附属図書館と国立情報学研究所は各地域の遺跡発掘調査報告書を WEB 公開するシステム『遺跡資料リポジトリ』を構築した。これを受けて全国で遺跡発掘調査報告書の公開への取り組みが進められてきたものの、鹿児島県ではその中心となるべき鹿児島大学附属図書館が参加しなかったために、この情報公開の後進地となっていた。刊行物による情報公開にアクセスの困難を伴うことが多い離島を含む鹿児島県のような地域こそ、WEB を利用した情報の共有化を促進する必要があり、状況の改善が必要であった。

先の『遺跡資料リポジトリ』は、2015 年度からその運営主体が（独法）奈良文化財研究所に引き継がれ、あらたに『全国遺跡報告総覧』としてリニューアルするとともに、より多くの機関にプロジェクトへの参加が呼びかけられている。そこで本研究の一環として、橋本は鹿児島大学総合研究博物館としてプロジェクト事務局に参加を申込み、2017 年度まで継続して、奄美地域の遺跡発掘調査報告書の公開を進めている。報告書公開には、刊行主体である自治体の承諾、協力が必須であるため、奄美地域の市町教育委員会と協議・調整を行った上で、総合研究博物館でアルバイト 1 名を雇用し、基礎情報入力、PDF データのアップロード、公開を進めている。その成果は『全国遺跡報告総覧』のサイトから利用可能である。

## 結果と考察

この取り組みによって、現在までに奄美市、瀬戸内町、喜界町、伊仙町、天城町、知名町の計 61 冊の報告書をアップロードした（2017 年 12 月現在）。これにより一般に利用が難しい遺跡発掘調査報告書を WEB 上で、どこからでも、だれでもが容易に入手でき、奄美の文化財に関する研究、教育、地域学習などを行う上での基盤的環境の整備が進められているといえよう。ただし、2017 年度までにアップロードできる奄美地域の発掘調査報告書は全体量からすればまだ一部であり、今後ともデータの継続的な追加が必要である。

## 参照

<http://sitereports.nabunken.go.jp/ja>